

6 台所にある塩と砂糖を使った低コスト簡易経口補液剤

キーワード	子牛、水分補給、下痢、経口補液
担当	新冠牧場 衛生課
連絡先	電話：0146-46-2011 ファックス：0146-46-2565 電子メール：nlbc_niikappu@nlbc.go.jp

1 背景・ねらい

子牛の疾病対策は、早期発見早期治療が鉄則です。特に、下痢や感冒によって脱水状況になった場合には、水分補給のため、市販のイオン飲料を経口補液することが効果的です。

しかし、市販のイオン飲料が手元にない場合もあります。

そこで、台所にある塩と砂糖を使って簡易経口補液剤を考案しました。

なお、この手法は、市販のイオン飲料を入手しにくい開発途上国などで使用されている方法を応用したものです。

2 内容・特徴・効果

腸管からの水分の吸収を良くするため、塩化ナトリウム濃度は0.45%に設定します。また、嗜好性を考慮して、ショ糖濃度を2%を含有させることとしました。

したがって、実際に簡易経口補液剤を作成する場合は、**食塩4.5g**（小匙すりきり1杯）及び**砂糖20g**（大匙すりきり2杯）を**1リットルの温水**に溶かすこととなります。

食塩や砂糖は台所にある調理用のもので十分です。砂糖はグラニュー糖があれば取扱いが容易です。いざという時のために、あらかじめ食塩と砂糖を計量し、ビニール袋などに分封しておくことをお勧めします。

簡易経口補液剤の1リットル当たりの作成経費は3円程度であり、市販の経口補液剤に較べるとかなり割安なので、コストを気にせずに多用することが可能です。

ただし、簡易経口補液剤の中には、子牛が下痢を起こした場合に失われるカリウム等が入っていないので、下痢による重度の脱水症状を呈した時には、適宜、市販の経口補液剤や点滴等で補う必要があります。

なお、様々な経口投与薬を投与する際にも、この簡易経口補液剤に溶かして投与すれば、嗜好性が高いので容易に飲ませることが可能です。



写真1 材料

市販の食塩及びグラニュー糖



写真2 分包封

あらかじめ分封した状態

左は5リットル用、右は1リットル用



写真3 補液の様子

嗜好性が良いのでがぶ飲みさせられる。



写真4 薬剤の経口投与

経口投与薬を簡易経口補液剤に溶かすと、嗜好性が良いので容易に投与することができる。